

方言AIの動画やロボットを開発した坂井美日准教授12日、鹿児島市の鹿児島大郡元キャンパス



鹿大・坂井准教授グループ 15、16日「近未来展」

鹿児島市の方言を研究する鹿見島大共通教育センターの坂井美日准教授(38)12日本語学Ⅱらの研究グループは15、16の両日、鹿児島市でイベント「地域のことばと文化 近未来展」を開く。生成人工知能(AI)を使って鹿児島弁で会話できる動画やロボットなど、開発中の研究成果を展示。「鹿児島弁の話し手目線から意見や要望を聞かせてほしい」と幅広く来場を呼びかける。

方言AIに話しかけて

九州・沖縄の方言や文化を研究する大学教員ら約15人が出展する。モニターを通じて鹿児島弁で対話ができるAI犬「かるかん」や、ロボット型の薩摩犬「つん」をはじめ、ポスターや写真の展示がある。

2年ほど前から方言AIの研究に取り組む坂井准教授。一般的にデータ量が少ない方言を生成AIに学習させるのは困難だったが、辞書や例文、文法書を利用すると精度が上がるのが分かり、特許も出願中。「こういう使い方をしたい、もったいない意見を聞かせてほしい」と話す。

将来は、教育や医療現場での活用を想定する。方言の継承に向けた子どもへの教育や、医療従事者が高齢の患者と意思疎通を図るための翻訳ツールなどの展開を目指す。イベントは同市東千石町のギャラリー「SOMETHING」であり、両日も午後1〜5時。無料。

2025年3月14日付13面

【問1】鹿児島大学共通教育センターの坂井美日准教授は、何を研究しているのでしょうか。

鹿児島方言

【問2】鹿児島弁で対話ができるAI犬の名前とロボット型の薩摩犬の名前を書きましょう。

AI犬 = かるかん

ロボット型 = つん

【問3】将来は、教育現場での活用を想定しています。具体的にどのような教育でしょう。16字で抜き出しましょう。

方言の継承に向けた子どもへの教育

【問4】将来は、医療現場での活用を想定しています。具体的にどのようなものでしょう。27字で抜き出しましょう。

医療従事者が高齢の患者と
意思疎通を図るための翻訳ツール

【考えてみよう】鹿児島弁で知っている言葉をあげてみよう。

むずかしい漢字とことば

准教授(じゅん・きょう・じゅ) = 大学などで、教授に次ぐ立場の人。 地域(ち・いき) 展(てん)

幅広(はば・ひろ)く 呼(よ)びかける 出展(しゅつ・てん) = 展覧会や展示会などに作品や商品を出してアピールすること。

薩摩(さつ・ま) 一般(いっ・ぱん) 困難(こん・なん) 将来(しょう・らい) 医療(いりょう) 継承(けい・しょう)

従事(じゅう・じ) = ある仕事についていること。 高齢(こう・れい) 患者(かん・じゃ)

意思疎通(いし・そ・つう) = 互いの考えや伝え合い、理解や認識を共有すること。 翻訳(ほん・やく)